

総理大臣杯争奪「第46回西日本実業柔道団体対抗大会」 対戦記録と戦評

男子第二部

昨年の13から18に参加チームが増えた男子第二部。注目は何と言っても、4年ぶりに出場した平成管財である。エース鈴木を全柔連のブラジル合宿で欠くもものは、圧倒的な地力の差を見せつけ予想通り優勝。来年は第一部昇格し、フルメンバー出場による来年の第一部の優勝争いに早くも期待が膨らむ。

また、決勝戦に進出した片方の雄、近畿通関も1年で第一部に復帰を果たす。

【第1回戦】

平成管財	5	-	0	神鋼環境ソリューション
(先鋒)	合田大二郎 3段	横四方固	沼田純志	2段
(次鋒)	里山裕晃 4段	横四方固	能勢淳平	3段
(中堅)	百瀬晃士 3段	肩車	奥村敬典	3段
(副将)	市ノ渡秀一 4段	上四方固	橋本有泰	4段
(大将)	筒井宏樹 4段	払腰	羽田倫生	3段
神戸製鋼加古川	0	-	5	関西医療学園附属接骨院
(先鋒)	高田 誠 初段	払腰	山本 武	3段
(次鋒)	松本 力 初段	払腰	岡田 大	3段
(中堅)	原田 誠 初段	出足払	大西浩介	3段
(副将)	下根聖貴 2段	反則勝	徳山雅也	3段
(大将)	田中浩之 2段	大外刈	安井正則	3段

【第2回戦】

大阪刑務所	3	-	2	帝人
(先鋒)	山野貴司	3段	背負投	有野伸也 2段
(次鋒)	江藤慎一	5段	上四方固	石丸義人 2段
(中堅)	阿部健太	3段	上四方固	笠井 睦 2段
(副将)	金谷 崇	3段	優勢勝	☉ 石井孝敏 3段
(大将)	中崎伸行	3段	優勢勝	☉ 藤岡 譲 2段
国分自衛隊	0	-	4	十全会十全病院
(先鋒)	中島信吾	3段	優勢固	☉ 龍 保則 3段
(次鋒)	相馬大樹	3段	引分	小原聖二 3段
(中堅)	宮園富弘	2段	優勢固	☉ 松本勝二郎 3段
(副将)	古川弘樹	2段	優勢固	☉ 富松寿人 3段
(大将)	佐賀弘紀	3段	合せ技	松原亮太 2段
三菱レイヨン大竹	0	-	5	平成管財
(先鋒)	杉本 脩	2段	優勢固	☉ 合田大二郎 3段
(次鋒)	倉林 剛	3段	袈裟固	里山裕晃 4段
(中堅)	天本 豊	2段	優勢固	☉ 百瀬晃士 3段
(副将)	旗手陽一	初段	払腰	市ノ渡秀一 4段
(大将)	半田孝之	2段	崩袈裟固	筒井宏樹 4段

山口刑務所 1 - 3 I M S

(先鋒)	松本健太郎	3段	優勢固	⊖	桜井竜次	3段
(次鋒)	川村林太	3段	優勢固	⊖	平田和義	5段
(中堅)	河野育彦	5段	優勢勝	⊖	樋口真臣	3段
(副将)	山本国也	2段	合せ技		山本俊広	3段
(大将)	大浴祥吾	3段	引分		龍澤 順	3段

大阪ガス 4 - 1 三菱重工神戸

(先鋒)	中山幸久	2段	優勢固	⊖	岡部公彦	2段
(次鋒)	小山敬上	2段	優勢固		浅田臣斗	2段
(中堅)	田中祐介	2段	優勢勝	⊖	阪本昭夫	2段
(副将)	浅田健志	2段	袖釣込腰		相川慎弥	初段
(大将)	谷村欣哉	2段	優勢固	⊖	堀上喜寛	2段

関西医療学園附属接骨院 4 - 0 ホンダ熊本

(先鋒)	山本 武	3段	合せ技		松尾圭二	3段
(次鋒)	岡田 大	3段	横四方固		吉永信大	3段
(中堅)	大西浩介	3段	優勢勝	⊖	中馬場慎剛	3段
(副将)	徳山雅也	3段	引分		富岡 良	3段
(大将)	安井正則	3段	優勢勝	⊖	山本和博	4段

日本エースサポート 4 - 0 日柔整請求サービス

(先鋒)	正木一将	4段	出足払		別府克祥	初段
(次鋒)	半澤尚浩	3段	合せ技		木村泰範	2段
(中堅)	三宮功一	5段	内股すかし		矢根陽介	2段
(副将)	村川大樹	3段	引分		矢根和紀	2段
(大将)	正木大輔	3段	内股		斉藤陽介	2段

クラレ岡山 0 - 5 近畿通関

(先鋒)	白神哲治	初段	横四方固	珠玖龍市	3段
(次鋒)	渡邊竜一	初段	優勢勝	砂原芳徹	3段
(中堅)	中釜大貴	初段	内股	村上博顕	3段
(副将)	伊勢脇宏貴	2段	内股	小林章男	5段
(大将)	中嶋正光	初段	横四方固	岡田恵司	4段

【準々決勝戦】

大阪刑務所 3 - 1 十全会十全病院

(先鋒)	山野貴司	3段	⊖ 優勢勝	龍 保則	3段
(次鋒)	江藤慎一	5段	内股	小原聖二	3段
(中堅)	阿部健太	3段	引分	松本勝二郎	3段
(副将)	嶋羽大輔	3段	優勢勝	⊖ 石井孝敏	3段
(大将)	金谷 崇	3段	横四方固	松原亮太	初段

平成管財 4 - 0 I M S

(先鋒)	合田大二郎	3段	引分	桜井竜次	3段
(次鋒)	里山裕晃	4段	支釣込足	萩原宏嵩	3段
(中堅)	百瀬晃士	3段	袈裟固	樋口真臣	3段
(副将)	市ノ渡秀一	4段	袈裟固	掘 和雄	4段
(大将)	筒井宏樹	4段	小外掛	龍澤 順	3段

大阪ガス 0 - 5 関西医療学園附属接骨院

(先鋒)	太谷健三	2段	内股	山本 武	3段
(次鋒)	小山敬上	2段	縦四方固	岡田 大	3段
(中堅)	田中祐介	2段	すくい投	大西浩介	3段
(副将)	浅田健志	2段	体落	徳山雅也	3段
(大将)	谷村欣哉	2段	内股	山川大輔	2段

日本エースサポート 2 - 3 近畿通関

(先鋒)	正木一将	4段	⊖	優勢勝	珠玖龍市	3段
(次鋒)	半澤尚宏	3段		反則勝	砂原芳徹	3段
(中堅)	三宮功一	5段		優勢固	⊖ 村上博顕	3段
(副将)	浅田建治	2段		体落	小林章男	5段
(大将)	正木大輔	3段		袈裟固	岡田恵司	4段

【準決勝戦第1試合】

大阪刑務所 0 - 5 平成管財

(先鋒)	山野貴司	3段		大外刈	合田大二郎	3段
(次鋒)	江藤慎一	5段		内股	里山裕晃	4段
(中堅)	阿部健太	3段		腕挫十字固	百瀬秀一	3段
(副将)	嶋羽大輔	3段		内股	市ノ渡秀一	4段
(大将)	金谷 崇	3段		大外刈	筒井宏樹	4段

先鋒戦。小柄な山野を合田は攻めめぐみ、両者に指導が2回。残り1分を切ってから、合田、ついに山野をつかまえて、大外刈であびせ倒して一本。

次鋒戦。開始早々、里山組際にとびつき腕挫十字固に、立ち上がろうとする江藤の首に足をひっかけ、巧みに倒してがっちり決める。

中堅戦。開始55秒、百瀬、内股に入りながら大内気味に追い込んでいけば、阿部背中から落ちて、一本。

副将戦。嶋羽左、市ノ渡右の喧嘩組み手。市ノ渡、両襟をもって強烈にひきつける。大内からケンケン内股で再三攻めてポイントを奪い、残り40秒、嶋羽ついに畳を背負って、一本。

大将戦。開始15秒、後退する金谷の右足を筒井鋭く大外刈で刈り取れば、金谷大きく宙に舞う。

地力のまさる平成管財が全て一本勝ちで大阪刑務所を圧倒。大阪刑務所は、先方山野の巧みな組み手と小気味の良い動きで善戦した試合が光った。

【準決勝戦第2試合】

関西医療学園附属整骨院 2 - 3 近畿通関

(先鋒)	山本 武	3段	朽木倒		珠玖龍市	3段
(次鋒)	岡田 大	3段	優勢勝	☉	砂原芳徹	3段
(中堅)	大西浩介	3段	体落		村上博顕	3段
(副将)	徳山雅也	3段	横四方固		小林章男	5段
(大将)	安井正則	3段	優勢勝	☉	岡田恵司	4段

先鋒戦。左の相四つ、試合巧者の山本、巴、足技で相手を揺さぶる。1分33秒、珠玖が後退したところを山本が両手ですくえば、珠玖は背中から畳に落ちる。

次鋒戦。岡田左、砂原右の喧嘩組み手。開始32秒、砂原組み際に一本背負いに入れば、岡田、横転して効果、これが唯一のポイントとなり、砂原の優勢勝ち。

中堅戦。大西右、村上左の喧嘩組み手。開始29秒、大西小外を仕掛ければ、村上尻餅をつき効果。村上、ポイント取り返さんものと攻勢に出て、1分38秒、内股が決まって、一本。

副将戦。徳山右、小林左の喧嘩組み手。互いになかなか組み合えず、両者指導1。小林、前に出て攻勢、2分45秒、支えつり込みで有効を奪い、そのまま押さえ込みに入り、一本。決勝進出を決める。

大将戦。1分30秒、片襟を握る岡田に指導、その後、山川前に出て攻勢、2分5秒、小外刈で効果を奪い、逃げ切る。

新鋭の関西医療学園に対して、強豪近畿通関の対決。関西医療学園・先鋒山本の活躍はあったが、結果として、ベテラン小林等安定した実力を持つ近畿通

関が関西医療学園の進出をしのいだ。

【決勝戦】

決勝戦まで唯1回の引分を除き、ほぼパーフェクトで勝ち進んだ平成管財と、緒戦の勝利以外は最小点差と苦勞して勝ち上がった近畿通関との決勝戦。

	平成管財	4	-	1	近畿通関
(先鋒)	合田大二郎 3段		背負落		鳥入孝仁 3段
(次鋒)	里山裕晃 4段	⊖	優勢勝		砂原芳徹 3段
(中堅)	百瀬晃士 3段		腕挫十字固		村上博顕 3段
(副将)	市ノ渡秀一 4段		反則勝		小林章男 5段
(大将)	筒井宏樹 4段		出足払		岡田恵司 4段

先鋒戦。小兵の鳥入は66kg級の選手。体捌きよく105kgの合田の動きを受け流す。攻撃の止まった1分46秒、両者に指導1が与えられるが、中盤過ぎから鳥入の動きが再び活発になり、2分47秒、場外際で相手の股下に潜り込み背負投で担ぐと、合田の巨体は大きく泳ぎ肩から落下し「有効」。その後も鳥入は攻撃の手を休めず、残り55秒、小内刈で追い込んでから背負落に連絡変化。相手を真下に落すと、合田の巨体が畳に沈み、見事な「一本」。鳥入は、平成管財から始めて得点を奪う。「柔よく剛を制す」の見本のような試合ぶりであった。

次鋒戦。これまた、巨漢対小兵の対戦。喧嘩組み手の組み手を掴むや否や、砂原は盛んに背負投、一本背負に担ぐが不十分。対する里山は、不十分な組み手ながらも、体を利用しての強引な内股で、1分36秒に「効果」を奪う。その後は、砂原が担ぎ技を繰り出すも里山はこれを残す。反撃の成果のないまま、逆に残り46秒、里山に大内刈からケンケン内股で「技あり」を奪われ、砂原涙を飲む。

中堅戦。開始27秒、百瀬が巴投で身を捨てたまま、左足を持ち上げ、村上の腹部に当てた右足と村上の右腕を挟み、両手は相手右首をしっかりと握り、瞬時に右に体を捻ると、村上思わず「参った」。百瀬の電光石火の早技、腕挫十字固が見事に決まる。

副将戦。市ノ渡が終始圧力を加えると、小林技が出ず 5 2 秒に指導 1。1 分 3 2 秒に指導 2 を受ける。その後は両者技が出ず、2 分 2 5 秒、両者に指導。後が無くなった小林だが、その後も技が出ず、残り 1 6 秒、両者に指導。4 回の指導が重なり、小林「反則負」を喫す。

大将戦。組み手争いで十分な組み手になれない筒井だが、1 分 4 4 秒、岡田の右袖を両手で掴み、右変形姿勢となった岡田の右足を鋭く払うと、岡田はもんどり打って背中から畳に落下。筒井、瞬間の技で「一本勝」。

結果は、平成管財の完勝に終わったが、先鋒、次鋒の近畿通関の小兵選手の活躍は点差以上の目の見張るものがあった。特に先鋒鳥入の担ぎ技の切れ味は、特筆に値する見事な柔道であった。